

別表2 技術評価項目及び配点 —技術提案—

※評価は、具体性及び実効性について評価し、総合的にA～Dを付ける。

大分類	中分類	配点	小分類	配点	提案項目	提出物枚数		評価基準			
						A4×9	A3×2	掛率			
(1) 全体	① 業務全体の 実施方法	8	ア 全体工程管理	2	・DB方式の特性を踏まえて、マイルストーンの設定や進捗管理方法などの工程管理方法を具体的に記述してください。	様式 7-4-2 A4×1		A	×1.0	優れた提案である。	
				2	・設計業務から施工業務への移行における情報共有方法や、引継ぎ方法を具体的に記述してください。			B	×0.75	やや優れた提案である。	
				4	・業務全体の全体工程表を業務別、工種別が分かるように記述してください。 - 全体工程表には、実施設計図書の完成時期、実施設計業務の完了時期、新庁舎の完成時期、本工事の工期を明示してください。 - 毎年度の予定出来高割合を明示してください。ただし、金額は記載しないでください。 - 工程遵守・短縮に関する具体的な方策について提案してください。			C	×0.5	標準的な提案である。	
	② 地域経済 への貢献	11	ア 市内企業への発注や市内調達 の金額	7	・市内企業への発注や市内調達の実施について総額を記載し、具体的な項目とそれぞれの想定金額を記述してください。 ※市内に営業所又は製造所を有する企業への労務、資材、物品等の発注に限ります。 ※特定建設工事共同企業体を、市内企業と結成した場合の配分比率は含まれません。	様式 7-4-4 A4×1		A	金額が一番高い。		
			イ 市内企業等との連携や その他地域経済活性化に資する取組	4	・市内企業等との連携(JV組成を含む。)や、その他地域経済活性化に資する取組について、具体的な実施方法を記述してください。 ※防災庁舎建設工事による発注調達を除く、地域経済への波及効果が実現できるものを対象に評価します。 ※JV組成については、配点内において加算評価します。			他	7点×(各提示金額/最高提示金額) 小数点第2位で四捨五入とする。		
小計		19		19							
(2) 設計業務	① 設計品質を確保するための 具体的な方法	6	ア 設計品質を確保するための 具体的な方法	6	・設計品質を確保するための具体的方策(設計体制、設計瑕疵の防止策等)について、提案してください。	様式 7-4-5 A4×1		A	×1.0	優れた提案である。	
				4	・災害時の拠点機能として、震度6以上の大地震が起きても防災庁舎としての機能を維持できるようにするための具体的方策について、基本設計に記述している以外で具体的に記述してください。			B	×0.75	やや優れた提案である。	
	② 災害対策の拠点となる庁舎を 実現するための具体的な方法	4	ア 市の事業継続性	4	・災害時の拠点機能として、震度6以上の大地震が起きても防災庁舎としての機能を維持できるようにするための具体的方策について、基本設計に記述している以外で具体的に記述してください。	様式 7-4-6 A4×1		A	×1.0	優れた提案である。	
				4	・基本設計と比較して、ライフサイクルでの施設維持管理コストの削減を達成するための効果的な方策について、具体的に記述してください。 ※特に修繕業務に該当する項目については、「施設の長寿命化」及び「更新の容易性」を考慮してください。			B	×0.75	やや優れた提案である。	
	③ ライフサイクルコスト、環境を 考慮した庁舎を実現するための 具体的な方法	4	ア ライフサイクルでの施設維持管理 コスト(修繕・更新含む。)及び、 エネルギーコストの削減	2	・基本設計と比較して、ライフサイクルでの施設維持管理コストの削減を達成するための効果的な方策について、具体的に記述してください。 ※特に修繕業務に該当する項目については、「施設の長寿命化」及び「更新の容易性」を考慮してください。	様式 7-4-7 A4×1		A	×1.0	優れた提案である。	
2				・基本設計と比較して、ライフサイクルでのエネルギーコストの削減を達成するための効果的な方策について、具体的に記述してください。	C			×0.5	標準的な提案である。		
小計		14		14							

別表2 技術評価項目及び配点 ー技術提案ー

※評価は、具体性及び実効性について評価し、総合的にA～Dを付ける。

大分類	中分類	配点	小分類	配点	提案項目	提出物枚数		評価基準						
						A4×9	A3×2	掛率						
(3) 施工業務	① 施工中の対策	16	ア 品質管理及び施工精度	8	・施工中の品質管理方策（品質管理体制、定期的な内部監査方法等）や、施工精度を確保するための方策等、品質管理に資する有効な方法を提案してください。	様式 7-4-8 A4×1		A	×1.0	優れた提案である。				
			イ 防災庁舎工事における安全対策、騒音対策、利便性の確保	4	・防災庁舎建設工事に当たって、周辺住民、庁舎利用者、職員それぞれに配慮した安全対策や騒音対策について、具体的に記述してください。 ※特に周辺工事の工期や、工事範囲を踏まえた安全対策を提案してください。			様式 7-4-9 A3×1	B	×0.75	やや優れた提案である。			
				4	・防災庁舎建設工事中の庁舎利用者・職員用駐車場閉鎖期間の短縮や、利便性の確保について、具体的に記述してください。				C	×0.5	標準的な提案である。			
				4	・防災庁舎建設工事中の庁舎利用者・職員用駐車場閉鎖期間の短縮や、利便性の確保について、具体的に記述してください。				D	×0	評価できる記載がない。			
			② 施工中の情報公開	3	ア 施工中の情報公開			3	・工事中に、市民に対する現場状況等の情報公開の範囲・方法を具体的に記述してください。	様式 7-4-10 A4×1		A	×1.0	優れた提案である。
												B	×0.75	やや優れた提案である。
	C	×0.5				標準的な提案である。								
	D	×0				評価できる記載がない。								
	③ 完成後の設備機器の調整	3	ア 完成後の設備機器の調整	3	・完成後の設備機器が、供用開始後に所定の機能を果たすための調整作業等について、具体的な実施方法を記述してください。	様式 7-4-11 A4×1		A	×1.0	優れた提案である。				
					・供用開始後の設備機能の確認方法、機器の調整が必要となった場合の対応方法や連絡体制、フォローアップ体制、期間などについて、具体的に提案してください。			B	×0.75	やや優れた提案である。				
					C			×0.5	標準的な提案である。					
					D			×0	評価できる記載がない。					
小計		22		22										
合計		55		55										

- 1 受注者は、受注者が提出した提案書類に基づいて本事業を履行するものとし、原則として提案書類に係る変更は行わないものとする。
- 2 受注者は、受注者の責めに帰する事由により受注者が提出した提案書類に基づいて本事業が履行できないときは、自然災害等の不可抗力により履行できない場合を除き、発注者の指定する期間内に、「設計・施工契約書」第63条に基づき違約金を支払わなければならない。
- 3 前項の場合において、受注者が発注者に支払う違約金の額の算定は、次に掲げる方法により行うものとする。

$$\text{違約金(税抜き)} = \text{契約金額(税抜き)} \times [1 - (\text{標準点}200\text{点} + \text{技術提案が履行できなかった場合の加算点}) \div (\text{標準点}200\text{点} + \text{審査時の技術提案に基づく加算点})]$$
- 4 違約金の対象となる提案の範囲は、上記評価表のうち(1)-2-①に示された「具体的な金額」の提案とする。